

子ども・健康・環境 生き活きまちづくりの主役は住民



〒441-8108 豊橋市町畑町森田38-72
南栄ふれあいセンター内 渡辺のりこ事務所
電話・ファックス 0532-48-1203
URL <http://www.toyohashi-noriko.net/>
mail watanabe@toyohashi-noriko.net
g-watana@mx2.tees.ne.jp (市役所)

今年は2回の選挙がありました。
4月の統一地方選と11月の衆議院選。
それぞれの「一票」に託した思いをどの
ように活かし、また活かされるかをどう
点検するか。民主主義への長い道のりと、
間断のない参加の大切さについて、改め
て考えた一年でした。

「戦争」のニュースが日常化し、イラ
クへの自衛隊派遣、国民保護法制、
住基ネットなど、私たちの平和な生活を
直視する時が来ています。

小さな、一人の声でも、上げ続けるこ
と。今年一年の皆さまのご支援に感
謝しつつ、また一歩進み出します！

豊橋市議会議員
とよはし市民会議代表

渡辺則子



三宅節子さんの「住民派女性議員の挑戦
"16"年」を読み、産廃、残土、芸術の町
おこしを学ぶため神奈川県藤野町を訪問。
11月25日

お知らせ

- (1) 12月議会日程はP8をご覧ください。
本会議は実況中継されます。(ティーズとインターネット)
- (2) 新聞折込み用9月議会報告「て～ぶる11号」10月10日発行。
衣装ケース生ごみ処理報告の「大根ニュース1号」11月7日発行。
お手もとに届かない方、ご連絡ください。お送りします。
- (3) 視察報告03年「ゆっくりゆっくりまちづくり」12月31日発行予定。

目次：環境特集

- P 2～3・・・9月議会報告
- P 4～5・・・写真<秋の巻>
- P 6～7・・・有機農業
やさい市レポート
- P 8・・・12月議会案内



7月7日から11日
にかけて、福岡～大分
～愛媛～兵庫～大阪と、
一般行政視察に行っ
てきました。一緒に
まちづくりを考えま
しょう。ご希望の方
はご連絡ください。

9月議会報告

のりこの質問が他課・多課に渡るのは・

子どもの質問ひとつとっても、児童福祉、教育、企画、都市計画、保健福祉等つながります。当然、答弁も他課・多課に渡ります。今まで私は「庁内の連携を図り、努力している。」という答弁を幾度も受け、期待してきました。市民参画や協働は、このベースなしには存在しないと考えるからです。教育や福祉での連携はかなり進んできていると感じます。

今回、残土問題を取り上げ、環境部と農政部双方の問題意識を問いました。「農業のまち・豊橋」の現場で起きている問題への認識の落差を発見し、両課が市民と共に、同じテーブルに着き、議論する必要を痛感しました。

答弁が枝分かれしていくのではなく、縄のように、よりあう方向を目指して、これからも挑戦していきます。

9月議会のりこの質問と答弁(概略)

1 □ 資源化センターにおける震災・火災等の危機管理について

Q：7分別の開始で「こわすごみ」が加わったことによる、ガス化溶融炉のリスク管理、ごみカロリーへの影響、震災・火災対策について

A：従前の処理と変わらない。カロリーへの影響は、測定データはないが、運転状況から判断して大きな変動はなしと考える。資源化センターの独自のマニュアルで整備、十分な対策を図っている。

のりこのコメント：震災・火災対策は万全とのことだが、新型炉の発注・建設の段階、東海地震対策の段階、そして今回の連続したガス爆発の段階においても、本市の対策は十分に信頼できるという安心を、具体的に示してほしいとさらに質問。直営である点を生かして、情報公開を進めること、信頼と安心があつてこそと、今後はスラグ活用・処理など埋立問題に取り組みます。

2 「残土条例」に代わる対策（その2）

農地・山林・海岸の環境汚染の早期発見、早期解決への課題

Q：農業委員会、農政部、環境部の責任の明確化と連携について

A：必要に応じて努力している。

Q：農地への過剰堆肥投入等の情報提供と相談受け入れ及び指導のための窓口の必要性

A：JA豊橋農協に委託。各農家には、農協や県農業改良普及課から指導。

Q：夜間・休日等に委託している産廃パトロール効果の精査から、直接責任の下で、「環境パトロール」を24時間、365日行い、毅然とした態度で臨むことが、問題の早期発見・早期解決・節税、環境文化・農業都市豊橋のまちづくりにつながると考えるかどうか。

A：H14年度は300日、584か所で監視業務。重大違反行為の疑い発生には、直接市が対処する体制で、不適正処理の未然防止に取り組んでいる。

Q：土砂に産業廃棄物や汚染物質が混入するのを未然に防ぐための「条例」を制定し、検査結果の報告や、土砂の管理台帳の作成を求めて持ち込ませず、安全な生活環境確保を図る自治体が増えている。本市の対応は？

A：廃棄物処理法、土壌汚染対策法で努力。10月1日からは、県廃棄物処理の促進に関する条例施行。土地所有者の義務が明確化。市民協働で保全努力。

のりこのコメント：

汚泥や建築廃材を混ぜて残土、堆肥と称して過剰に農地に投入する例が続いている実態を、産業部ではどう認識し、農業者への周知徹底を図る対策を立てているのか。条例は決して万全ではない。住民にどのように周知し、早期発見、早期解決につなげるのか。残土条例を制定したまちでは、こうした問題点を広く周知できる手段として条例が機能していると解釈する。それに替わる努力として、本市で、本気に取り組み、条例の周知徹底を図らなければ、条例がすべてを解決しない。重大違反行為の発生件数、不法投棄フリーダイヤルへのアクセス、最近の早期発見・早期解決の事例など、具体的な事例をもとに示してほしいと再質問。明解な期待した答弁は得られず、今後の課題として取り組みます。



3 「住基ネット」の市民周知について（その2）



Q: 第一次稼働時、住基ネットの構造をどのように認識して接続したのか。

A: システムの安全性、条例の「個人情報の保護を最優先として・・・」による。

Q: 第二次稼働により現実化してきた、漏えいなどの事態に対し、市民から賠償責任を問われた場合の認識と対応について。

A: それぞれに管理責任がある。適切なシステムの管理、運用を行えば、市賠償責任が生じることはない。

Q: 「本人確認」のために国での住基ネット利用事務が進むと、市民一人当たりどの位の頻度・利用効果、費用対効果を試算しているのか。

A: 264事務中、今は24事務。（総務省：年間16万件から1500万件の事務の利用効果）利用頻度、軽減経費の算出不可。費用対効果は、国、県の機関にある。国民年金、厚生年金での住基ネット利用で効果は高まる。

4 「子どもの読書活動推進法」豊橋プランの策定について

Q: 「豊橋版ブックスタート」事業4年目に向け、コーディネーターの位置づけ、絵本リスト、絵本配布の課題への取組みについて。

A: 平成13年7月スタート 平成15年度コーディネーター配置：ボランティア、図書館、保健所3者の連絡調整・ボランティアの相談、助言を行っている。引き続き取り組む。絵本の配布せず、読み聞かせ、図書館での初めての絵本コーナーの充実、カラー版の絵本リストの配布を行い、親子のふれあいや言葉と心を通わすことができるよう努める。

Q: 文科省制定「学校図書館図書標準」（1993年）に対する、本市の達成率、また、交付税措置された 図書整備費の上乗せ予算化の考えについて。

A: 標準を上回る独自の基準を設け、平成10年度から、学校図書購入予算を大幅にアップ、平成15年度末までに基準に達成するよう整備中。地方交付税算定額以上を予算化。達成率は、除籍率が当初見込みより増加したこともあり、平成14年度末で、小学校82.1% 中学校87.1%

Q: 「中核市・豊橋の図書館は、中央図書館が1館のみ」の脱却に向けて、図書館整備構想策定の現況 と課題について。

A: 図書館の役割、整備計画、図書館ネットワーク、図書館サービス、学校図書館支援について、豊橋市図書館協議会の場において、平成15～16年度の2ヵ年で検討中。中央図書館の再整備、校区地区市民館の分室や配本センターの機能の見直し、地域図書館の位置づけも協議。情報の高度化、国際化、少子高齢化の進展などにより、サービスのあり方や子どもの読書活動の推進、市民の学習要求の多様化に適切な対応が必要と考えている。

yukonの

突然訪問

有機やさい市 レポート



毎週金曜日の朝、9時から約1時間半、高師石塚町、豊橋環状線沿いの水谷誠寿さん（豊橋有機農業の会会長）宅の前庭で有機野菜の朝市が開催されている。水谷さんは、21年前、石巻の有機農業の生産者と知り合ったのがきっかけで、この

朝市を行なっている。始めた当時は隔週だったが、今は毎週行い、「豊橋有機農業の会」の方5～6人が常時出店。

そこへ地元の花生産者と、石巻の作業所「童里夢」の天然酵母パンの販売も加わるようになった。

この有機農法の主導者は、新城市福津農園の松沢政満さん。松沢さんの農法を簡単にいえば、農地の雑草を抜かずに、自然のままにして作物を育てる力にしていこうというもの。雑草の生えた状態で、作物の種をまく。雑草は土の保水になり、時期がきたら刈ってそのまま畑に置き、養分にし、霜よけにもなる。土中でも雑草の根は枯れた後、作物の生育に効果を上げるという、自然の力の生かした農法である。

出店者の一人、女性の遠山さん。お若いですが、もともと農家ですか。

いいえ、サラリーマンからの転身です。今日は主人が用事で来ていませんが、有機農業を始めて1年半です。その前に1年間、松沢さんのところで有機農業の技術と哲学を学んでから、新城でスタートしました。



なぜ、農業をはじめたいと思ったのですか。

次の世代に、正しい食べ物に対する考え方を伝えていくために必要と思って。

白菜、大根、にんじんなど立派に出来ていますね。どんな工夫があるのですか。

土作りに時間がかかりますね。もともとが化学肥料での畑で、有機物の蓄積がなかったため、土をバランスの良い状態にするのに時間がかかります。この農法で作っていくうちに、毎年土が良くなっていくのを実感します。健康な土づくりが、健康な野菜作りになるのです。

実は、皆さんの農法についてよく知らないのですが。

この有機農法とは、自然の資源の循環型農業。太陽のエネルギーも役割の一つ。ムダなものはないのです、自然には。

自然にゆだねるような農法ですね。それにしても農業で生計は立つのですか。

私は近所の酪農家のところで朝晩搾乳の手伝いをしています。主人は、他にバイトをしています。でも、やりたいことなので楽しいです。



隣から、小久保さん（50代）。遠山さんみたいな若い人に、どんどん取り組んでもらいたいですね。

僕は、40代後半で会社を辞め、豊橋でこれから農業をしようと勉強中です。意欲のある人が土地を借りて農業をやろうとしても、地主が遊休地でも人に貸すという認識がない。行政が、地主が貸すことに対しても優遇するなどの方策を考えてくれればいいのだけれど。

輸入ばかりで、このままじゃ日本の農業はなくなってしまうよ。

そうですね、若い世代のほうが、真剣に考えているかもしれない。せっかく農業国豊橋なのにこのままじゃ・・・。方策を考えなければいけない時にきているのに。

このみかんは、家内の実家のものです。有機でやるように言ってきて、両親が年をとったのきっかけに手伝うことになり、4年前、有機に切り替えました。そうしたら味が良くなってきました。昔のみかんの味です。甘さだけでなく、ちゃんとすっぱさが混じっています。ぜひ食べてください。



20代の女性。にんじんをたくさん買われましたね。

実は私も松沢さんのところで勉強して、現在土地を借りて作物を作っています。5m×20mのスペースです。自分の家族と近所のおばあちゃんたちのための野菜作りをしています。今日は、自分の畑にないものを買って来ました

作業は何人かでやっているのですか。

一人でやってます。水もやらなくて良いので大丈夫です。今年は、ナスの色が変になりかけたとき1、2度水やりをただけです。あと、虫の見回りにいって、虫をつぶすことをします。つぶさないと増えて大変になると、放っておいても大丈夫な虫があるんです。

すごいですね、やりたいと思うのは誰でも思うけれど、できないのではなく、実行に移しちゃえば出来るということですね。感心しました。



若い男性。三川さんは、北設楽郡東納お米を作っておられます。

設楽で1年間農業を学んだのがきっかけで、田んぼを借り移り住みました。かなり寒い地だそうですが。

夫婦で新しい環境を楽しんでいるところもあります。カップに飲み残したコーヒーが翌朝、凍っていることもあります。寒くて作れないのは別ですが、寒暖の差があるところは、作物がおいしいといわれています。今年の米はどうでしたか。世間では不作だったと。

例年通りです。今年是有機農法が強かった、といわれています。今の米作りは、化学肥料と薬で完全にコントロールしているので、少しの天候の異変でも、稲が対応できないようになっているのです。有機の場合は、稲自身が天候に合わせて自ら



調節して育つので大丈夫なんです。

うちは、田んぼに合鴨を60羽ほど放して雑草を取っていますが、珍しいので周りや行人が関心を示してくれます。有機有機といっただけでは若い人たちにアピールできないので、何かその辺の工夫も考える必要があると思います。



松沢さん

水谷さん宅では、市の終了後、隔週で松沢さんを講師に、農業講座が開かれています。卵、梅、農薬、緑のダム、木質バイオマスなど魅力的なテーマがいっぱいです。誰でも聴講できます。

今回は突然の訪問に、皆さまごころよくお話しくださいありがとうございました。私は、お話を聞きながら、すっかり白菜と水菜を買いました。今夜はお鍋にしましょう。

記録 のりこネット議会・地域活

9月	1日(月)	防災訓練/陳情書提出同行	23日(木)~25日(金)	「地方自治と子ども施策全国自治体シンポ」(川崎市) /子ども夢パーク(川崎市)/藤野芸術家の家	
	3日(水)	一般質問提出	27日(月)	南部共同調理場/保健所保健予防課 /三遠南信サミット(自然史博物館)	
	5日(金)	議運(傍聴)	29日(水)	ミニまんま(文庫)/建設消防委員会(傍聴)	
	7日(日)	栄校区体育祭	11月	1日(土)	トラム:学校教育(岡崎勝さん)
	8日(月)	~10日(水)本会議	4日(火)	小学校おはなし会	
	11日(木)	常任委員会(総務・建設消防) /豊川養護学校訪問	5日(水)	「性教育」北山郁子先生(清水カウンセリング)	
	12日(金)	常任委員会(福祉教育・環境経済) /上下水道局ヒアリング	6日(木)	「大根プロジェクト」生ごみの会スタート (東細谷)	
	13日(土)	エンジェルの会/朝倉義子講演会	8日(土)	女性Gネット講演会:松下典子さん(ウィル愛知)	
	14日(日)	文化の祭典	9日(日)	栄校区市民館まつり	
	15日(月)	栄校区敬老会	10日(月)	花うさぎの会(文庫)	
	16日(火)	補正予算特別委員会	11日(火)	「住基ネット」チラシ配布(南栄駅、豊橋駅)	
	17日(水)	決算特別委員会(上下水道)	12日(水)	議運(傍聴)	
	18日(木)	決算特別委員会(病院)	13日(木)	予算提案書市長に提出 /「子ども文化活動」講師(豊川)	
	21日(日)	第1回賢治祭(生活家庭館)/「美術館」講演会	14日(金)	トラム:音楽療法(榊原美紀さん)	
	22日(月)	ワークショップ(美術博物館)	15日(土)	ぶっかー	
	24日(水)	本会議(最終日)	16日(日)	第2回南栄ふれあいバザー /「議会活動」講師(多米)	
	25日(木)	~30日(火)議会報告会(栄校区9ヶ所)	17日(月)~19日(水)	福祉教育委員会視察(高知~倉敷~岸和田)	
	27日(土)	ぶっかー/地震防災講演会(ライフポート)	20日(木)	議運/本会議(臨時議会)/中心市街地特調各派	
10月	1日(水)	南栄神輿奉納式(進雄神社)	21日(金)	議運/トラム:虐待(矢満田篤二さん) /「学童」陳情同行/赤津さんの会(フロイデン)	
	3日(金)	憲法を考える講演会(カリオン)	22日(土)	賢治読書会	
	4日(土)	リサイクル法講演会:藤原寿和さん(カリオン)	25日(火)	競輪特調(傍聴)/総務委(傍聴)	
	7日(火)	小学校おはなし会/共生フェス実委(女性会館) /B.S三者会議(中央図書館)	26日(水)	弥生町防災会議	
	8日(水)	歌とおはなしの会(弥生王寿園) /県環境条例説明会(ライフポート)	28日(金)	中心市街地特調/環境(傍聴) /環境経済委(傍聴)/海がめ会議(ホテル日航)	
	10日(金)	教育基本法を考える会(カリオン)	30日(日)	男女共生フェス(ライフポート)	
	11日(土)	ホスピス講演会(豊橋市公会堂)			
	14日(火)	生ごみ処理勉強会(三重県白山町&飯南町)			
	17日(金)	家庭館まつり(生活家庭館)			
	21日(火)	小学校おはなし会/南部共同調理場 /丸山薫賞授賞式(アソシア)			

8日
11時45分
のりこ登壇